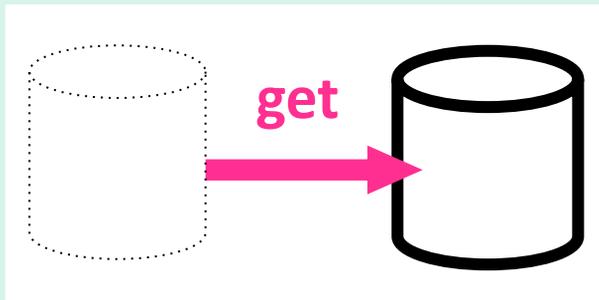


< 基本動詞 > GETの世界

CORE IMAGE



ある状態を得る

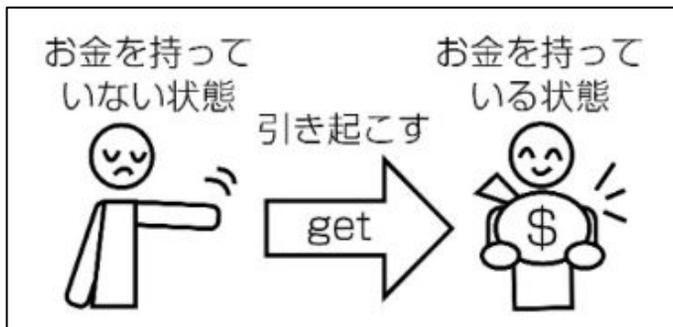
I got some money.



日本語でも最近では「ゲットする」という言い方がありますが、日本語のゲットするでは、何か物を獲得するという意味に限定されがちです。英語の get には、もっと豊かな使い方がありません。

get のコアは「ある状態を得る」ということです。

つまり、「ある状態にする、あるいはある状態になる」というものです。変化が重要なポイントですね。他動詞の場合は「ある状態にする」で、自動詞の場合は「ある状態になる」です。I got some money. といえば、「お金を持っていなかった状態」が前提となって、「お金をもっている状態にする(獲得する)」という意味で、ただ「お金を持っていた」の I had some money. とは違います。



I got some money.

お金を持っている状態にする
(獲得する)

「彼女は悲しくなった」を **She got sad.** と言いますが、別に悲しくなかった状態から悲しい状態へと変化したことが含まれます。She was sad. だと「悲しかった」ということが語られているだけです。 **I got married last week.** だとまだ結婚していなかった状態から結婚した状態への変化が感じとれます。



She **got** sad.

彼女は悲しくなった



I **got** married last week.

私は先週結婚しました

get には、さらに Peter, **I'll get you some coffee.** (コーヒーを入れてあげよう)という言い方もあります。これは、「あなたがコーヒーを手にする状態にする」ということです。



I'll **get** you some coffee.

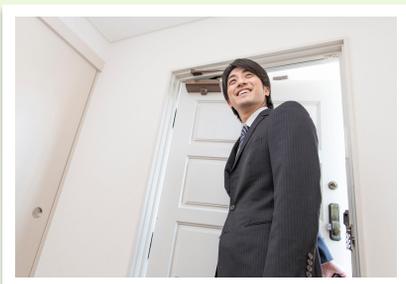
コーヒーを入れてあげよう

Got it? といえば「分かった?」ということですが、「意図していること (it) を持っている状態にする」ということの疑問文です。他にも、 **I got home.** (帰ったよ)だと「家にいる状態になる」、 **Let's get started.** (さあ始めよう)だと「始まった状態にする」ということが含まれます。次のような例も同じです。



Got it?

分かった?



I **got** home.

帰ったよ



Let's **get** started.

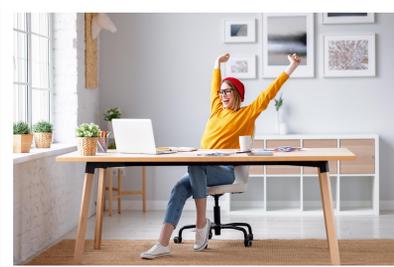
さあ始めよう

次のような例も同じです。



I **got** my bike repaired yesterday.

昨日、自転車を修理してもらった



I **got** all the work finished yesterday.

昨日、すべての仕事を終わりました

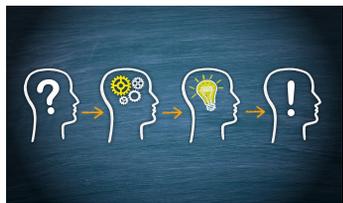


I'll **get** this report done by tomorrow.

明日までにこのレポートを仕上げます

I've got to go. といえば「今、ここにいる状態から移動する状態への変化」が感じとられ、I have to go. のように「行かなくてはならない状況を抱えている」より、自分に働きかけてというニュアンスがあります。**How can I get to the station?** は「駅にはどうやって行けばよいですか」ということですが、get to the station は自動詞であるため、自らを to the station (駅に向き合った状態)にさせるということです。

I'll get her to clean the house. といえば、彼女が掃除をするようになるよう、働きかけるという意味合いがあります。これを **I'll have her clean the house.** といえば、「彼女がちゃんと掃除をするように確保する(保証する)」という意味合いになります。日常的には、以下のような表現もおさえておきたいですね。



I **got** the picture.

わかった



Her song really **got** me.

彼女の歌にとりこになった



You **got** the wrong number.

間違い電話です



I don't **get** it.

わかんない



I'm gonna **get** you.

お前をやっつけてやる



Don't **get** me wrong.

誤解しないでくれ